

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		8/18 （8/11との比較）	8/18 （8/11との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.87% （+0.02）	86.77円 （+0.77%）	+2.3% 2017年1Q	0.75%	CPIが市場予想の範囲の内容となる中、追加利上げの可能性があるとの見方も台頭。国債利回りは上昇。カナダドルは対円で上昇。NAFTA（北米自由貿易協定）の第1回会合では意見の衝突はなかった模様。	卸売売上高や小売売上高などの発表を予定。米国ジャクソンホールで実施される、経済シンポジウムでの欧米の金融政策関係者の講演も注目。また米国政治動向や原油価格も注意。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		
ブラジル 	BB	9.18% （▲0.02）	34.71円 （+1.52%）	-0.4% 2017年1Q	9.25%	小売売上高は市場予想を上回る結果。同国の財政赤字予想が膨らみ、財政再建が遠のく一方、同国の格下げリスクが低下したことは追い風。レアルは対米ドル、対円とともに上昇。国債利回りは小幅に低下。	経常収支などの発表を予定。債券市場は中銀の緩和的な政策姿勢などから堅調に推移すると見込むも、為替市場は政治的不透明感の残存などから上値の重い展開を想定。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	6.75% （+0.02）	6.17円 （+0.67%）	+1.8% 2017年2Q	7.00%	NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉第1回会合では原産地規制を巡り難航。保護主義を主導してきた米バノン高官が解任されたことで、ペソは対米ドル、対円とともに上昇。国債利回りは小幅上昇。	GDP（国内総生産）確報や小売売上高などの発表を予定。GDPでは業種別の成長率に注目。NAFTA再交渉や、中銀の金融政策の動向をにらみつつ、債券・為替市場ともに神経質な展開を想定。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		8/18 （8/11との比較）	8/18 （8/11との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.62% （+0.03）	86.57円 （+0.47%）	+1.7% 2017年1Q	1.50%	雇用統計では、雇用者数変化は市場予想を上回り、内訳として非常勤雇用者数が増加。賃金指数は市場予想通りの結果。国債利回りは上昇。オーストラリアドルは対円で上昇。	住宅指標などの発表を予定。米ジャクソンホールで実施される経済シンポジウムでの米欧の金融政策関係者の発言にも注目が集まり、政策姿勢が示されなければ、オーストラリアドルは大きく動きにくいとみられる。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.83% （+0.04）	79.87円 （+0.39%）	+2.5% 2017年1Q	1.75%	消費者信頼感指数などの材料はあったものの、反応は限定的。米経済指標の結果を受け、国債利回りは上昇。ニュージーランドドルは対円で上昇。	貿易統計などの経済指標発表に加え、9月に実施される総選挙を前に、経済財政見通しの公表が予定される。債券・為替市場ともに海外指標につられる展開を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.58% （+0.05）	13.81円 （+0.33%）	+2.6% 2017年1Q	0.50%	貿易収支は良好な内容となったものの、為替への影響は限定的。米国経済や原油相場の動向などの影響を受けつつ、国債利回りは上昇。ノルウェークローネは対円で上昇。	消費者信頼感指数や失業率、GDP（国内総生産）などの発表を予定。緩やかな景気回復継続が裏付けられるか注目。引き続き海外要因につられて、債券・為替市場ともに一進一退の展開になると想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		8/18 (8/11との比較)	8/18 (8/11との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
南アフリカ 	BBB-	7.45% (▲0.11)	8.30円 (+2.33%)	+1.0% 2017年1Q	6.75%	小売売上高は市場予想を上回る結果。債務格付の引き下げや中銀の独立性に対する懸念などが後退したことから、ランドは対米ドル、対円でともに上昇。国債利回りは低下。	インフレ統計などの発表を予定。米大手格付会社は政治的な混乱が経済成長の重石になるとの見通しを発表。政治的な緊張感の高まりを受けて、債券・為替市場ともに不安定な展開を想定。
	Baa3	 金利上昇		 景気鈍化	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	6.61% (▲0.05)	0.82円 (+0.00%)	+5.0% 2017年2Q	4.75%	貿易統計は輸出入ともに市場予想を上回るも、貿易収支は赤字を記録。中銀による金融緩和への期待が高まる中、国債利回りは低下。ルピアは対円でほぼ横ばい。	金融政策決定会合を予定。国内景気がさえないことや、インフレ上昇圧力が弱まったことなどを背景に、中銀による金融緩和への期待が高まり、国債利回りは低下しやすい地合いを予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気拡大	 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.49% (▲0.00)	1.70円 (+0.06%)	+6.1% 2017年1Q	6.00%	貿易統計は輸出入ともに減少し、CPIは上昇。予想外のインフレ上昇を受けて、利下げ観測が後退。国債利回りは横ばい。ルピーは対円で上昇。	主要な経済指標の発表はなし。金融政策を左右する今後のインフレ動向に注目。GST（物品・サービス税）導入の影響に注意が必要だが、安定した国内情勢から債券・為替市場ともに堅調な推移を想定。
	Baa3	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

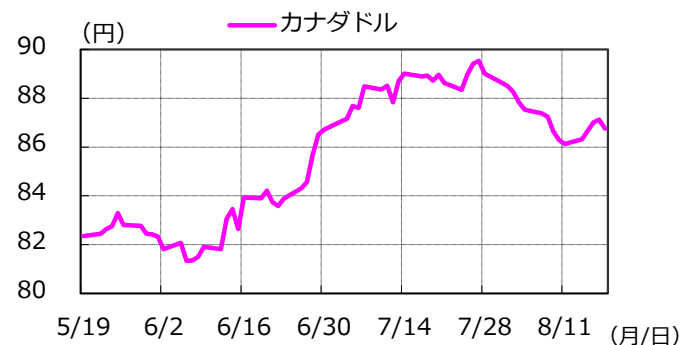
（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

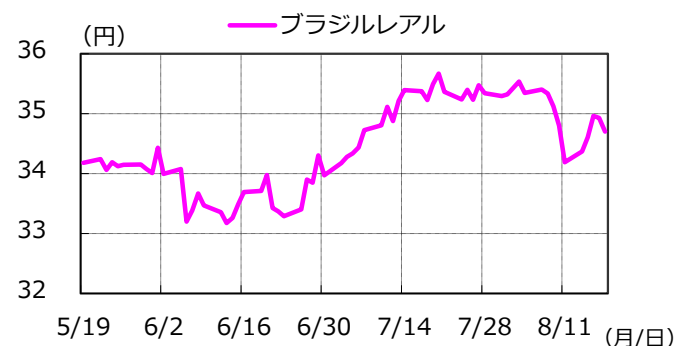
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/5/19～2017/8/18

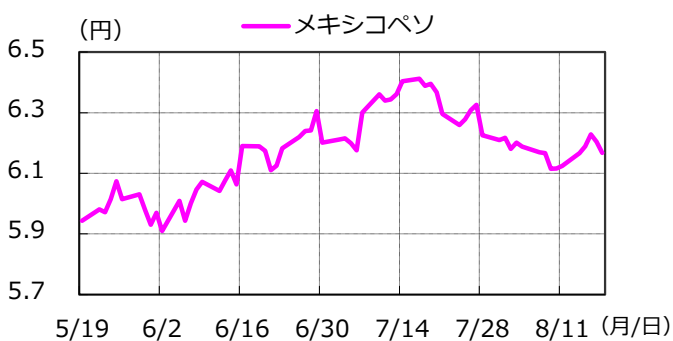
カナダ



ブラジル



メキシコ

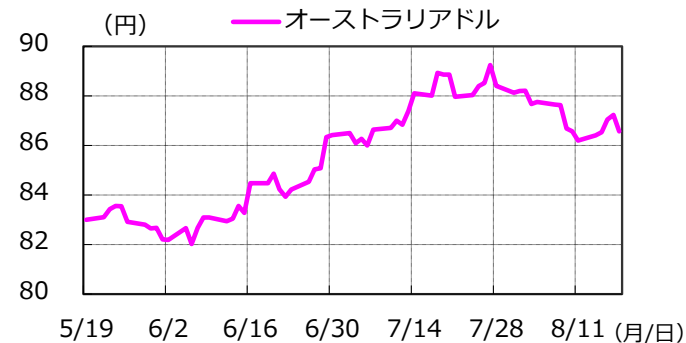
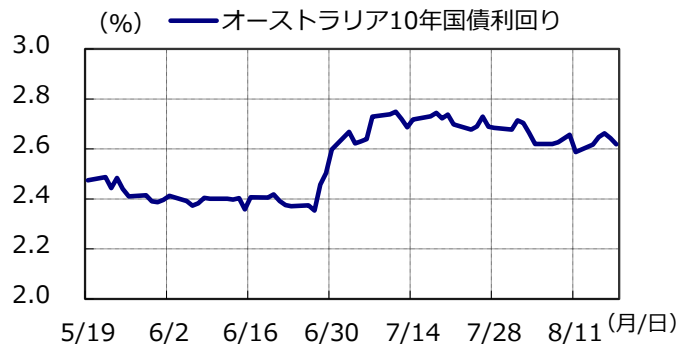


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

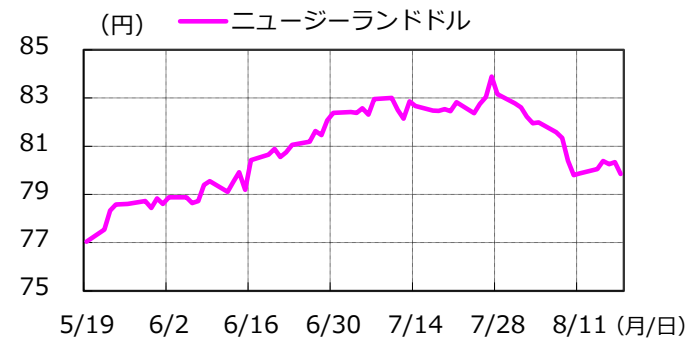
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/5/19～2017/8/18

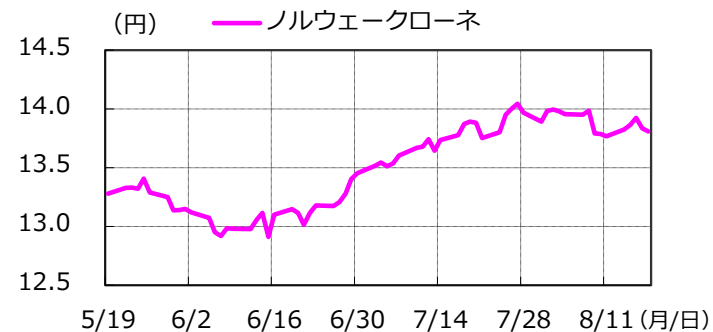
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

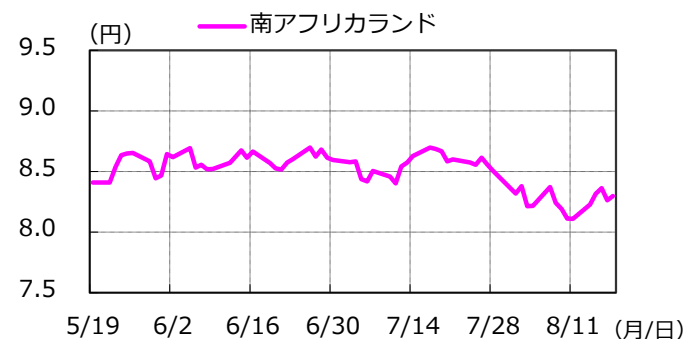


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

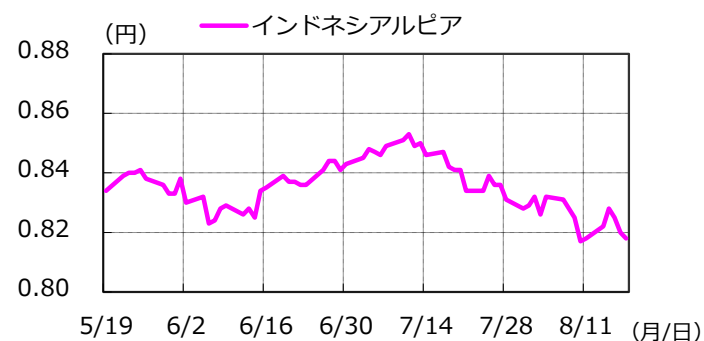
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/5/19～2017/8/18

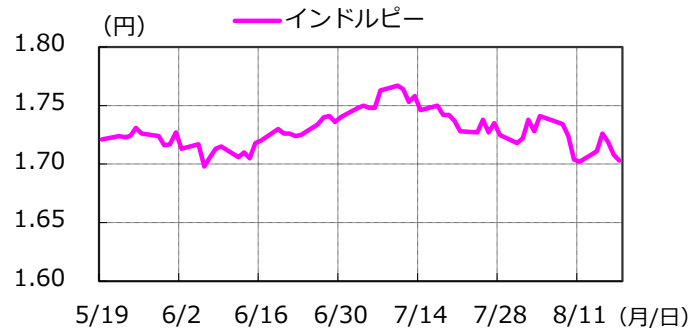
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。